慶應義塾大学学術情報リポジトリ
Keio Associated Repository of Academic resouces

Title	アジアにおけるポピュリズムの比較分析
Sub Title	Comparative Asian populism
Author	粕谷, 祐子(Kasuya, Yuko)
Publisher	慶應義塾大学
Publication year	2021
Jtitle	学事振興資金研究成果実績報告書 (2020.)
JaLC DOI	
Abstract	本研究は、アシ゛ア諸国におけるホ゜ヒ゜ュリス゛ムを通時的・国際的な比較の観点から理解することを目指す。具体的には、3年間の計画で、日本とフィリヒ゜ンの2カ国をアシ゛アの中心的な事例として検討し，その分析結果を世界の他の地域やアシ゛アの他の国の状況と比較して包括的な理解に繋け゛ることを目的としている。第1年次となる今年度は、日本に関しては玉井が次の2つの分析を行った。(1) 大正から昭和初期にかけての選挙ポスターにおけるスローガン等の言説が国民の間での選挙に対する態度にどのような影響を与えたのかについて分析した。(2)第一次世界大戦、第二次世界大戦において、「文壇」、特に歌人・詩人がどのように戦争に協力すべく動員されたのかについて、室生犀星を事例に検討した。また、フィリピンに関しては、次の分析を行った。(1) 2019年に実施された中間選挙において、ポピュリスト政治家である口ト゛リコ゛・ト゛ゥテルテ大統領の存在および行動が上院・下院選挙での政党競合、特に候補者の政党所属行動にどのような影響を与えたのかを分析した。(2) ト゛ゥテルテ大統領がコロナ禍のなかでも80から90%の高い支持率を維持している状況を受け、実際にはどの程度の有権者が大統領を支持しているのか、また、世論調査で「うそ」を答えているとしたらどれはどのような要因によるのかについて分析した。なお、当初の計画ではフィリピンでの現地調査を予定していたが、コロナ禍のため渡航を中止し、代わってインターネットによる世論調査を実施して(2)の分析を行った。 This three-year project aims to understand populism in Asia from the perspective of temporal and international comparisons. We focus on Japan and the Philippines as the central cases from which we attempt to draw some theoretical insights. The fiscal year 2020 was the first year of this project, and we conducted the following analyses. On Japan, (1) we analyzed how discourses appearing in election posters from the Taisho era to the early Showa era affected people's perceptions and attitude toward elections; (2) we examined how poets and novelists were mobilized to cooperate in the war efforts during the World War I and World War II, by focusing on the case of Saisei Murou. Regarding the Philippines, (1) we analyzed how the populist president (Rodrigo Duterte) influenced the inter-party competition during the 2019 mid-term election, and (2) using the list experiment methods, we analyzed to what extent Filipino voters actually support Duterte, against the backdrop that his approval ratings remain around 80 to 90% despite the government's poor handling of the economy and the pandemic.
Notes	
Genre	Research Paper
URL	https://koara.lib.keio.ac.jp/xoonips/modules/xoonips/detail.php?koara_id=2020000009-20200018

慶應義塾大学学術情報リポジトリ(KOARA)に掲載されているコンテンツの著作権は、それぞれの著作者、学会または出版社/発行者に帰属し、その権利は著作権法によって保護されています。引用にあたっては、著作権法を遵守してご利用ください。

The copyrights of content available on the KeiO Associated Repository of Academic resources (KOARA) belong to the respective authors, academic societies, or publishers/issuers, and these rights are protected by the Japanese Copyright Act. When quoting the content, please follow the Japanese copyright act.

2021 年 4 月 3 日

2020 年度　学事振興資金（共同研究）研究成果実績報告書

研究代表者	所属	法学部	職名	教授	補助額	1,500　千円
	氏名	粕谷 祐子	氏名（英語）	Yuko Kasuya		

研究課題（日本語）

アジアにおけるポピュリズムの比較分析

研究課題（英訳）

Comparative Asian Populism

研究組織

氏　名 Name	所属・学科・職名 Affiliation, department, and position
粕谷 祐子（Yuko Kasuya）	法学部政治学科・教授
玉井　清（Kiyoshi Tamai）	法学部政治学科・教授

１．研究成果実績の概要

本研究は、アジア諸国におけるポピュリズムを通時的・国際的な比較の観点から理解することを目指す。具体的には、3 年間の計画で、日本とフィリピンの 2 カ国をアジアの中心的な事例として検討し，その分析結果を世界の他の地域やアジアの他の国の状況と比較して包括的な理解に繋げることを目的としている。第 1 年次となる今年度は、日本に関しては玉井が次の 2 つの分析を行った。(1) 大正から昭和初期にかけての選挙ポスターにおけるスローガン等の言説が国民の間での選挙に対する態度にどのような影響を与えたのかについて分析した。(2)第一次世界大戦、第二次世界大戦において、「文壇」、特に歌人・詩人がどのように戦争に協力すべく動員されたのかについて、室生犀星を事例に検討した。また、フィリピンに関しては、次の分析を行った。(1) 2019 年に実施された中間選挙において、ポピュリスト政治家であるロドリゴ・ドゥテルテ大統領の存在および行動が上院・下院選挙での政党競合、特に候補者の政党所属行動にどのような影響を与えたのかを分析した。(2) ドゥテルテ大統領がコロナ禍のなかでも 80 から 90%の高い支持率を維持している状況を受け、実際にはどの程度の有権者が大統領を支持しているのか、また、世論調査で「うそ」を答えているとしたらどれはどのような要因によるのかについて分析した。なお、当初の計画ではフィリピンでの現地調査を予定していたが、コロナ禍のため渡航を中止し、代わってインターネットによる世論調査を実施して(2)の分析を行った。

２．研究成果実績の概要（英訳）

This three-year project aims to understand populism in Asia from the perspective of temporal and international comparisons. We focus on Japan and the Philippines as the central cases from which we attempt to draw some theoretical insights. The fiscal year 2020 was the first year of this project, and we conducted the following analyses. On Japan, (1) we analyzed how discourses appearing in election posters from the Taisho era to the early Showa era affected people's perceptions and attitude toward elections; (2) we examined how poets and novelists were mobilized to cooperate in the war efforts during the World War I and World War II, by focusing on the case of Saisei Murou. Regarding the Philippines, (1) we analyzed how the populist president (Rodrigo Duterte) influenced the inter-party competition during the 2019 mid-term election, and (2) using the list experiment methods, we analyzed to what extent Filipino voters actually support Duterte, against the backdrop that his approval ratings remain around 80 to 90% despite the government's poor handling of the economy and the pandemic.

３．本研究課題に関する発表

発表者氏名（著者・講演者）	発表課題名（著書名・演題）	発表学術誌名（著書発行所・講演学会）	学術誌発行年月（著書発行年月・講演年月）
玉井清	近代日本における選挙啓蒙活動	『Voters』	No.58, 2020 年 10 月
玉井清	昭和戦時文壇の苦悩についての一考察―＜政治と文学＞室生犀星の観察と葛藤を糸口に	『法学研究』	第 93 巻第 11 号, 2020 年 11 月
Yuko Kasuya, Julio C. Teehankee	Duterte Presidency and the 2019 Midterm Election: An Anarchy of Parties?	Philippine Political Studies Journal	41-1&2: 106-126, 2020.
粕谷祐子	アジアにおける民主主義の後退	慶應大学オープンカレッジ	2020 年 9 月 5 日
粕谷祐子	東南アジアにおける民主主義の後退	慶友会東京支部	2021 年 3 月 10 日